

J
Japan
Cardiovascular
Research
Foundation
CRF
2024
11
vol.13

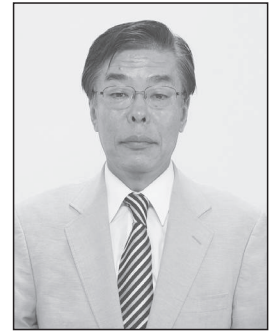
財団季報



公益財団法人
循環器病研究振興財団
Japan Cardiovascular Research Foundation

就任ご挨拶

公益財団法人 循環器病研究振興財団
理事長 峰松一夫



2024年（令和6年）7月に、公益財団法人循環器病研究振興財団（以下、財団）の第8代理事長に就任いたしました。既に、「バイエル循環器病研究助成」の研究発表会や「第37回循環器病チャリティ・ゴルフ」関連事業（医療セミナー・表彰式・基金贈呈式）、「2025年度読売テレビ基金研究助成」贈呈式などの事業に参加し、予防啓発事業である小冊子「知っておきたい循環器病あれこれ」の添削作業などにも関わっています。

私自身は、1979年～2018年の39年間にわたり国立循環器病研究センター病院、研究所に在籍し、その間、「バイエル循環器病研究助成」をいただいたり、「循環器病チャリティ・ゴルフ医療セミナー」で講演したり、「知っておきたい循環器病あれこれ」も3回ほど執筆させていただきました。今回、財団理事長を拝命し、こうした財団活動に理事長として関与する巡りあわせに、驚き、かつ感激しています。

財団季報巻頭言の執筆にあたり、財団ホームページに残るこれまでの季報バックナンバーの理事長巻頭言を全て読ませていただきました。季報VOL.1 1997年1月号、故・尾前照雄 第3代理事長の「ごあいさつ」では、前年暮れの曲直部第2代理事長のご逝去を受け、「このような時期にこそ財団設立の原点に立ちかえり、最も効率的な運営をはかるとともに、財団をご支援いただくための誠実な広報活動が必要と感じる次第であります。此処にあらためて財団季報として年四回の会報をお届けすることにした次第であります。」と書かれています。この季報は、「財団をご支援いただくための誠実な広報活動」であり、本来は年四回発刊が原則であり、だからこそ「季報」と名付けられたのです。

その後27年が経過し、様々な危機を乗り越えて、財団は活動を続けてきました。この間、財務は必ずしも安定せず、また広報手段としてはホームページ等が主流となり、紙媒体の広報は徐々に下火になっています。学会によっては、紙媒体の機関誌を廃止し、電子媒体のみに移行しているところも少なくありません。「財団季報」も年四回ではなく、年一回発刊が常態化し、現状ではむしろ「年報」と改称したほうが良いのかもしれない。

ウェブ会議やウェブ宴会全盛の昨今ではありますが、やはり大事な会議や交流は対面で行いたいものです。「財団季報」も「財団をご支援いただくための誠実な広報活動」と考えるなら、やはり紙媒体を続けたいものです。要再検討課題です。

第8代理事長を拝命するにあたり、常に「設立の原点に立ちかえって」様々な改革に取り組んでいきたいと考えています。

当財団の主な事業

1. 研究助成事業

循環器病に関する医学研究ならびに看護研究に対して行う助成事業。

(1) 公募研究助成

- ① バイエル循環器病研究助成
- ② 読売テレビチャリティ基金研究助成
- ③ 循環器疾患看護研究助成

(2) 指定研究助成

- ① 個別研究
- ② 多施設共同研究



2024年度バイエル循環器病研究助成贈呈式

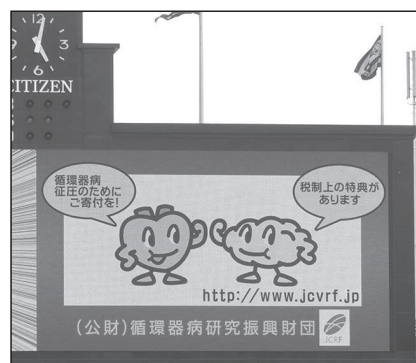
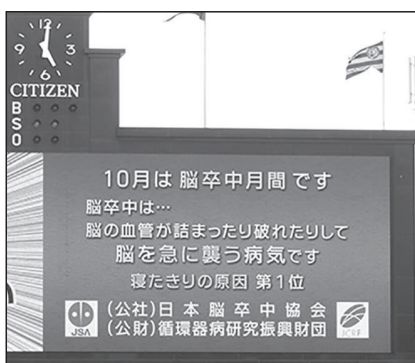


2024年度読売テレビチャリティ基金研究助成贈呈式

2. 普及支援事業

循環器病の予防・診断・治療の普及向上を図るための事業。

- ① 研究業績集発行及び研究成果発表会
- ② 学術活動支援
- ③ 移植医療支援
- ④ 予防啓発と知識の普及
- ⑤ 機関誌の発行及びホームページサービス



2024年度阪神甲子園球場での予防啓発活動

3. 調査研究事業

当財団が自主事業として行っている循環器病に関する調査研究。

当財団の活動報告

【学術活動支援】

循環器病に関する予防方法やその他の知識を一般に普及・啓発することを目的に、セミナーや講演会の開催を支援するため、学術活動支援の公募を行いました。今年度は2件のセミナーが採択され、「岩手県」と「徳島県」で開催される予定です（1件あたり50万円）。多くの一般市民にご参加いただけるよう、開催申請者は自治体や関連団体と共催や後援の形で連携し、地域のニーズに応じた複数の講演内容を計画しています。当財団では、今後も予防啓発の取り組みをさらに広めていくことを目指しています。

	セミナーテーマ	開催申請者	日時・場所
1	みんなで減塩フェスタ in やはば	岩手医科大学いわて東北 メディカル・メガバンク機構 機構長 佐々木 真理	令和6年12月8日（日） 10:30～15:00 矢巾町活動交流センター やはば一く
2	塩分の減らし方、正しく知っ て、取り組もう！ —減塩の取り組み方、続け方 のコツ—	徳島大学病院 薬剤部 試験室長 小川 敦	令和7年1月12日（日） 13:00～15:30 吉野川市文化研修センター

【市民健康講座】

令和6年5月25日（土）、普及啓発事業の一環として、シナジーワールドワイド・ジャパン合同会社からのご寄付により、「シナジーワールドワイド・ジャパン・循環器病研究振興財団健康セミナー」を東京（赤坂）で開催いたしました。講師の津金昌一郎先生（国際医療福祉大学大学院 医学研究科公衆衛生学専攻 教授）から、乳がん・子宮がんを中心に、統計や原因・予防について1時間にわたりご講演いただきました。



30代から40代の女性が多く、800名席の会場は満席となり、データに基づく原因や予防方法、各種検診についてのわかりやすい説明もあり、皆様熱心に耳を傾けておられました。

2024年度 研究助成対象者の紹介

バイエル循環器病研究助成

循環器関係の疾患について毎年度研究テーマを設定し公募を行っています。今年度は「心不全と分子機構」のテーマで、43課題の応募の中から下記の4課題が選考されました（1課題250万円）。



in vivo 代謝・酸化脂質モニタリング・イメージング技術を用いた心血管疾患の病態解明

慶應義塾大学医学部 スポーツ医学総合センター 講師 勝俣 良紀

水素ガスは、無触媒の生体内条件下では、酸素ガスを含むいかなる生体化合物とも反応しない、反応性に乏しい物質で、生体内でどのように生理活性を發揮するか、その具体的な機序は不明でした。本研究では、脳や心臓に豊富に存在する多価不飽和脂肪酸をターゲットとする、IR 障害後の遅延相（6 時間以降）に生じる連鎖的脂質過酸化反応に注目し、水素ガスの生体内での触媒としてヘムを想定したメカニズムの解明を目指しています。



非心筋細胞の心不全病態及び多臓器連関における役割の全貌解明とそれに基づく新規治療法開発

東京大学医学部附属病院 循環器内科 特別研究員 小室 仁

心不全は依然として予後不良で世界中で問題となっており、新たな治療法が求められている。これまでの研究で、心臓線維芽細胞が c-Myc-Cxcl1-Cxcr2 経路を介して心筋細胞に直接作用し、心不全の病態に関与することを解明した。今後は、心不全期における c-Myc 発現上昇機序や、心筋細胞との相互作用を引き起こす他因子の解明を進める。また、これらの因子が併発疾患に与える影響を検討し、バイオマーカーの同定を目指す。さらに、ここまでの手法を他の細胞にも応用し、非心筋細胞の役割の全貌解明を目指す。



心筋細胞の4倍体化を忠実に再現する iPS 細胞心筋症モデルの開発

公益財団法人東京都医学総合研究所 疾患制御研究分野 再生医療プロジェクト プロジェクトリーダー 宮岡 佑一郎

iPS 細胞由来心筋細胞は、疾患モデル、創薬、細胞移植治療などへの応用が期待されていますが、その分化成熟度の低さが課題です。心筋細胞は、成熟の過程で2倍体から4倍体へと倍数性を増加させますが、従来の iPS 細胞由来心筋細胞ではこれを再現できません。そこで私達は、細胞融合を介して4倍体 iPS 細胞由来心筋細胞を作製する独自の系を開発しました。本研究では、この4倍体 iPS 細胞を駆使して、生体をより忠実に再現できる心筋症モデル確立を目指します。



単球の圧力受容体 GPR68 に着目した新規心不全発症機構の解析と治療薬シーズ導出 -CryoEM を活用した電子レベルの分子機構解析-

九州大学大学院 薬学研究院 薬物動態学分野 助教 吉田 優哉

心不全は未だ克服できていない人類の主な死因の一つです。私たちはこれまでの研究で、心不全を悪化させる生体内タンパク質の一つ GPR68 を見出しました。しかし、GPR68 の機能や他種多様な原因で発症する心不全への寄与の普遍性は未知であり、これが GPR68 を標的とする治療薬開発の大きな障壁となっています。本研究では生理学的解析手法や電子顕微鏡などの分野横断的な解析技術を駆使し、これを解決することを目指します。

読売テレビチャリティ基金研究助成

当財団は2024年度より公募研究助成の一環として新たに「読売テレビチャリティ基金研究助成」の実施を開始いたしました。

本研究助成は読売グループ4社（読売テレビ、読売新聞、報知新聞、読売ゴルフ）が主催する「循環器病チャリティ・ゴルフ（P8参照）」から循環器病研究振興財団に贈呈された「チャリティ基金」により実施しております。循環器病領域の研究費が削減される中、循環器病に関する研究の一助となり、ひいては、当該研究成果が、循環器病の新たな原因究明、治療方法に繋がることを期待しています。

2024年度は、循環器病に関する臨床、基礎（疫学含む）、トランスレーショナル（基礎・臨床を含む）のいずれかの分野に関する研究の公募を行い、35課題の応募の中から下記の3課題が選考されました（1課題200万円）。

2025年度の募集要項については、2024年12月初旬の情報公開を予定しています。

**単極誘導で評価する不整脈基質とアブレーションへの応用**

富山大学 学術研究部医学系 内科学第二 助教 片岡 直也

心室頻拍に対する心筋焼灼術では、頻拍の必須回路を含む不整脈基質を同定する事が肝要です。そこには、伝導障害と不応期の不均一性という2つの特徴が存在する事が基礎研究から報告されていますが、現行の基質同定法は、いずれも伝導障害を顕在化させる事に焦点が当てられています。本研究では、単極誘導を用いた不応期の不均一性を可視化する試みを通じ、新たな基質同定法の開発を目指しています。

**間質を標的とした心不全治療戦略の開発**

名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 助教 加藤 勝洋

慢性心不全の原因の1つとして線維芽細胞の増殖と間質の線維化が挙げられます。この線維化を改善する治療薬はこれまで開発されていませんでした。私たちは線維芽細胞の多様性に着目した研究から、線維芽細胞の性質を改善させる薬剤を同定し、動物の心不全モデルを用いた研究から心不全を改善させることを明らかとしました。本研究では、心不全の新規治療法を開発するために、臨床試験の実施に必要なデータを取得し、早期に治験を開始することを目指します。

**心臓マクロファージを起点とした免疫細胞ネットワークによる心不全制御機構の解明**

千葉大学大学院 医学研究院 疾患システム医学 特任助教 工藤 藤美

我々は心臓マクロファージが心臓の恒常性を維持する一方、心臓リモデリングを進め心不全発症に関わることを明らかにしてきました。しかし、心臓マクロファージがどのように多様な役割を果たすのか、その機構はよく分かっていません。本研究ではマクロファージサブセットを中心にケモカインを介した免疫細胞ネットワークにより、細胞間コミュニケーションがどのように心臓恒常性と病態を制御するかを明らかにすることを目指しています。

循環器疾患看護研究助成

循環器病の看護に関し自由課題で公募を行っています。今年度は下記の4課題が選考されました(1課題20万円)。



家族の代理意思決定でBridge to decisionとなった重症心不全患者に伴う全人的苦痛の様相

国立循環器病研究センター ICU 看護師 小谷 彩乃

近年、心臓移植医療の進歩に伴う心臓移植登録者数は年々増加し、補助循環装置を装着した患者の急性期からの苦痛緩和、看護支援が患者のQOL向上において重要視されています。そこで、本研究では急激な循環不全により患者自身がインフォームドコンセントに同意できず、家族による代理意思決定で補助循環管理となった患者における全人的苦痛を明らかにし、必要な看護支援を検討することで患者のQOL向上のための重要な示唆を得ることを目指します。



遺伝学的検査を受け遺伝性結合組織疾患の診断が確定した人の体験と支援ニーズ

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 招聘教員 清水 知子

マルファン症候群などの遺伝性結合組織疾患の多くは、早期診断と介入により大動脈瘤や解離が予防可能で、予後改善が期待できます。早期診断を目的とした遺伝子診断が臨床現場で増えてきている中、遺伝学的検査を受ける患者が直面する課題や必要な看護支援について議論が十分ではない現状にあります。本研究は、遺伝子検査を受け診断が確定した遺伝性結合組織疾患患者の体験や支援ニーズを明らかにし、今後の支援の方向性を検討することを目的としています。



集中治療室から退室した循環器疾患患者の急変前兆候及び背景要因の分析

国立循環器病研究センター ICU 副看護師長 長野 美紀

当院では、2021年10月からRRSの運用として、Critical care outreach team (以下CCOT) によるラウンドを開始しています。しかし、院内心停止患者の中でCCOTラウンドを行った症例が少なく、現行のCCOTラウンドの患者選定基準では、急変前の患者を十分にスクリーニングできていないことが示唆されました。本研究では、集中治療室を退室した循環器疾患患者の急変前兆候および急変に関連する背景要因を明らかにすることで、予期せぬ院内心停止・ICU再入室の低減を目指します。



看護学部学生に対する臨床推論に基づいた心不全フィジカルアセスメントの効果

千里金蘭大学 看護学部看護学科 講師 前田 晃史

「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」では、看護の基盤となる基礎的理論、基礎的技術などを学ぶためにフィジカルアセスメントを強化する必要性が述べられています。高齢化に伴い心不全患者は増加しており、学生は臨地実習において心不全患者を受け持つ機会が増えていますが、心不全患者から得られた情報を適切に評価し、ケアに結びつけることに困難を感じています。本研究では学生が心不全患者に対するフィジカルアセスメントを習得し、実践に活かせる教育方法の確立を目指しています。

健活！チャリティ・ウォーク2024

2024年3月23日（土）、読売テレビ主催の「健活！チャリティ・ウォーク2024」が開催されました。

今回で3回目の開催となる本イベント。当日はあいにくの雨模様となりましたが、124人もの方が参加され、大阪城公園をスタートし、造幣局や天満橋など名所を巡りながら大阪市内をウォーキングされました。



当財団は国立循環器病研究センターとともに共催で参加させていただき、当日はブースを構え「知っておきたい循環器病あれこれ（小冊子）」を配布いたしました。なお、本イベントの参加費とチャリティ基金は全額、当財団にご寄付いただいております。

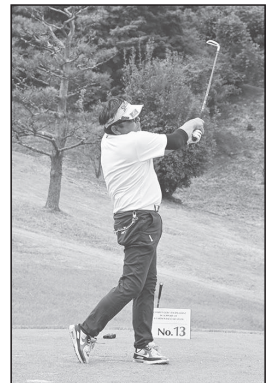
第37回循環器病チャリティ・ゴルフ

◆ゴルフ大会◆

2024年9月28日（土）、兵庫県西宮市のよみうりカントリークラブにおいて、恒例の「循環器病チャリティ・ゴルフ」が開催されました。この大会は、読売グループ4社（読売テレビ、読売新聞社、報知新聞社、読売ゴルフ）の主催並びに厚生労働省をはじめ近畿圏の自治体、医師会などの後援により行われています。今回は、23社がご協賛され、107名が参加されました。

◆医療セミナー・ゴルフ表彰式・チャリティ基金贈呈式◆

9月30日（月）、読売テレビ10hallにおいて、医療セミナーが開催され、国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部部長・病院 副院長 中岡良和先生が



「腸内細菌と循環器病」をテーマにご講演をされました（要旨はP9～P11）。

医療セミナー後、10plazaに会場を移して行われたゴルフ大会の表彰式では、個人、団体の優勝者等の表彰がありました。続いて松田陽三循環器病チャリティ・ゴルフ運営委員会委員長（読売テレビ代表取締役社長）より峰松一夫理事長にチャリティ基金の贈呈があり、10,249,000円をご寄付いただきました。



最後に、当該チャリティ基金にて2024年度より実施を開始しました「読売テレビチャリティ基金研究助成」採択者（紹介はP6）へ助成金の目録を贈呈いたしました。

チャリティ・ウォーク並びにチャリティ・ゴルフでいただきました皆様からの貴重なご浄財は、循環器病の知識の普及・予防啓発に役立てて参る所存です。読売テレビ放送株式会社をはじめ、参加者の皆様、関係各位のご支援に心より感謝申し上げます。



【第37回循環器病チャリティーゴルフ医療セミナー】（要旨）

『腸内細菌と循環器病』

国立循環器病研究センター
研究所血管生理学部 部長
心臓血管内科 副院長
中岡 良和



注目を集める腸内細菌叢

腸は生命を維持するうえで大切な役割を担います。腸内には体内に存在する細菌の約9割が生息し、その数は100兆から1,000兆個、種類は約1,000種、重さで約1.5キログラムあります。人間の体を構成する細胞の数は約37兆個との報告がされており、私たちの身体の中には、自分の細胞数よりも遥かに多い数の細菌が棲んでいることとなります（図1）。自然界に存在する細菌は多種多様ですが、その中の限られた細菌群が人間の腸内で特有の細菌の生態系を構築して我々と共生しており、これを「腸内細菌叢」と呼びます。

図1：ヒトの身体に棲む細菌の大部分が腸に棲息する

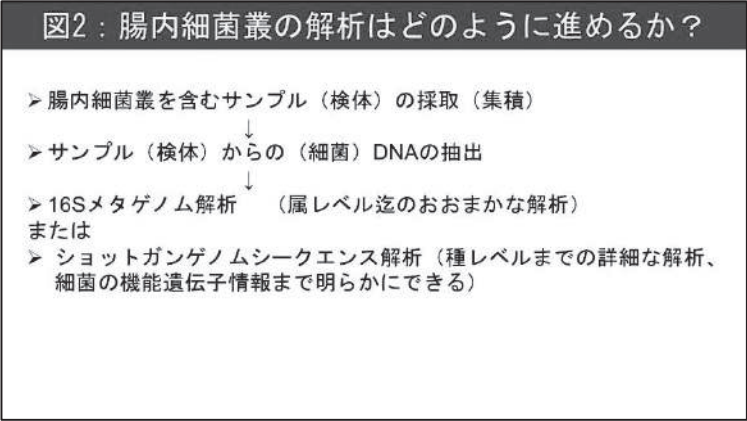
腸内細菌の数	: 100兆	⇔ヒトの身体の細胞数	10兆個
腸内細菌の種類	: 1,000種類		(37兆個とも)
重さ	: 約1~1.5 kg		

- ヒトの腸内には多様な腸内細菌が存在する
- さまざまな菌種がバランス良く存在することが宿主（ヒト）にメリット（健康）をもたらす

腸内細菌叢の構成パターンは人それぞれで異なり、その差異は食生活や生活環境からも来ますが、最も影響が大きいのは母親です。妊娠中の母親の子宮にいる赤ちゃんの腸に細菌はいませんが、出産時に母親の産道にいる腸内細菌と接触して細菌をもらい受け、赤ちゃんの腸内に定着して腸内細菌として増殖します。腸内細菌叢の原型は、およそ3歳までに形成されて、成人に近いパターンで安定化します。近年、さまざまな病気の発症と腸内細菌叢の構成の変化とが関連する可能性が多数報告され、腸内細菌叢は注目を集めています。そこで、本日は循環器病と腸内細菌の関係をお話させていただきます。

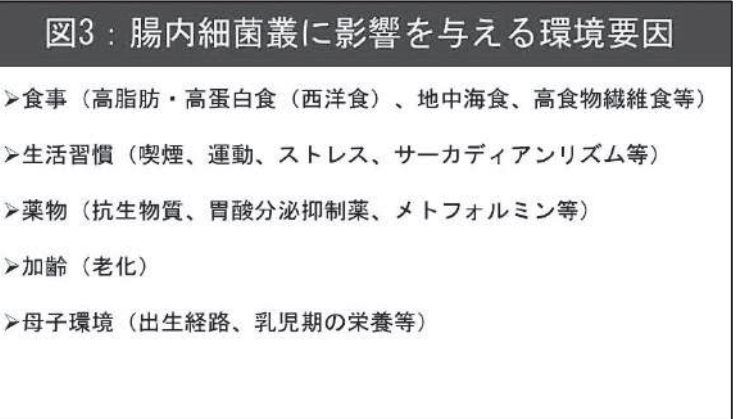
次世代シーケンサーの開発による腸内細菌叢研究の進歩

生命の設計図である「ヒトゲノム」が解読された 2003 年以降、大量の遺伝情報を高速で読み取る「次世代シーケンサー」が開発され、ヒトのみならず、ヒトに共生する細菌群の研究も格段に進歩しました。細菌の分類には、何らかの方法で細菌を培養して単一の株として分離する必要があります。細菌の多くは培養困難で、それが障壁となって、研究の進展が阻まれていました。次世代シーケンサーの登場で、細菌培養の技術に依存せず、網羅的・包括的に解析する「メタゲノム解析」技術が進展しました。メタゲノム解析により、便中の腸内細菌叢の種類やそれらの占める割合、機能を推定できるようになり、腸内細菌と腸内細菌が代謝に関わる代謝物質は消化管だけでなく、全身の臓器に影響を与えることが分かってきました（図 2）。腸内細菌叢のバランスが崩れることを「Dysbiosis（ディスバイオーシス）」と呼びます。こうした乱れ、バランス異常は消化管疾患だけでなく、代謝性疾患（肥満や糖尿病）、がん、自己免疫疾患（膠原病）、循環器疾患など多数の病気の発症に関わることが分かってきました。



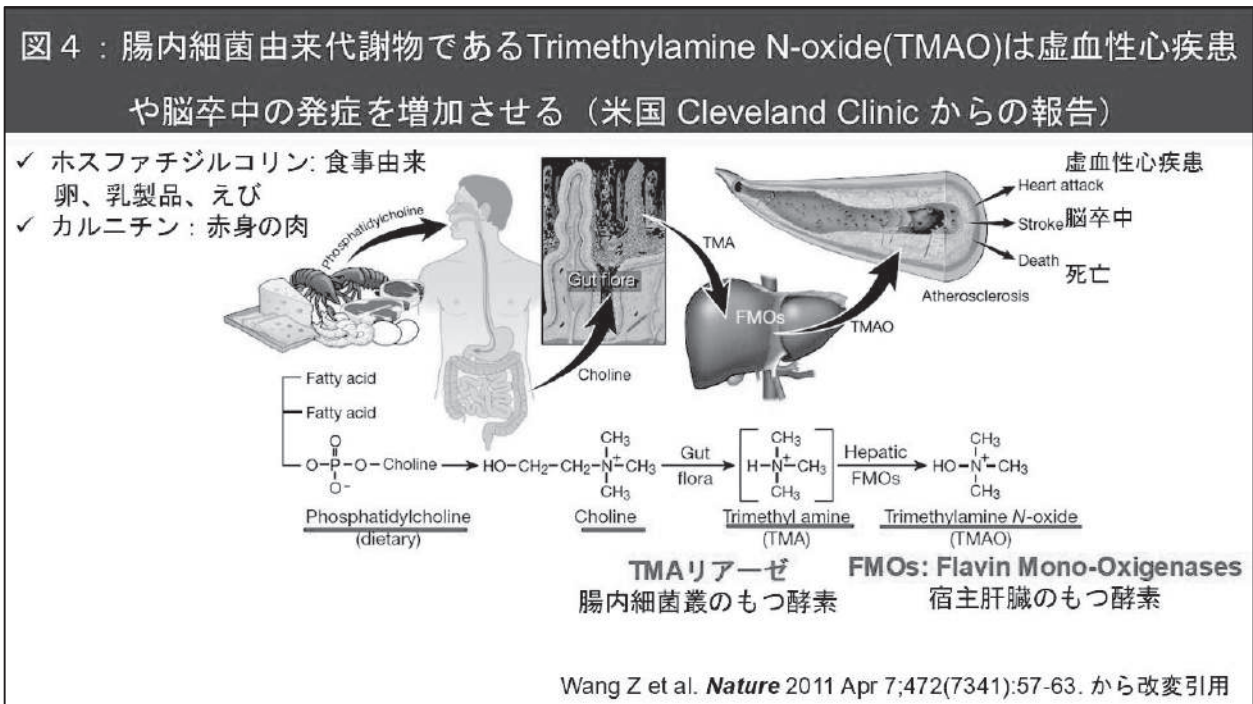
腸内細菌叢に影響を与える要因

腸内細菌叢の構成に影響を及ぼす環境要因の第一に、食事（食習慣）が挙げられます。イタリアやギリシャなど地中海沿岸の国の人々が食べる「地中海食」は、腸内細菌叢に良い影響を与えることで有名で、牛肉、バター、コレステロール含有食品、砂糖などをよく摂取する「西洋食」に比べ、肥満や糖尿病、高血圧などの生活習慣病、心筋梗塞や脳卒中などの循環器病の予防・改善に有効です。また、高食物繊維食の摂取は腸内細菌叢の多様性を高められて、生活習慣病の予防に有効です。この他、腸内細菌叢に影響を及ぼす要因で、薬も重要です。抗生物質は腸内細菌叢の変化を誘導して、病気の発症に強く関係します。また、胃酸分泌を抑制するプロトンポンプ阻害薬も腸内細菌叢に影響を及ぼすため注意が必要です（図 3）。



腸内細菌叢の乱れと病気の関係

基礎研究から、腸内細菌叢と肥満および動脈硬化の関連性について解明が進められています。ヒトとマウスの両方で腸内細菌叢が肥満に関係する可能性が高いことが、ワシントン大学のグループから報告されています。また、動脈硬化で腸内細菌が産生に関わる重要な代謝物として「トリメチルアミン N-オキシド (trimethylamine N-oxide : TMAO)」があり、動脈硬化や虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、血栓症を引き起こす作用がクリーブランドクリニックのグループから報告されています。食事で摂る卵、乳製品、エビ等に含まれるホスファチジルコリンや赤身の肉に含まれるカルニチンは、腸管内で腸内細菌の持つトリメチルアミンリアーゼという酵素の作用で、トリメチルアミン (TMA) に代謝されます。TMA はヒトの腸管で吸収された後、肝臓の肝細胞でフラビンモノオキシゲナーゼ3という酵素により、さらに代謝されて TMAO となります。このように腸内細菌の持つ酵素とヒトの肝臓内の酵素の2つの共同作用で、コリンやカルニチンから TMAO は産生されます。血液中の TMAO 濃度が高い患者は低い患者に比べ、死亡率、心筋梗塞、脳卒中の発症率が高いことが知られています (図4)。



我々のグループでは、循環器疾患の中で (1) 生活習慣病との関連性が深い脳卒中患者、(2) 厚生労働省の指定難病の高安動脈炎患者、(3) 厚生労働省の指定難病の肺動脈性肺高血圧症患者で腸内細菌叢解析を進めて来ました。その結果、これらの患者の腸内細菌叢で腔内常在菌の増加がみられる事、これらの細菌の腸内への定着が上記疾患の病態促進に関わる可能性を、患者の便検体でのメタゲノム解析、無菌動物への患者便検体の移植実験、動物モデル解析などから明らかにして来ました。今後、腸内細菌叢の変容と各疾患病態との関連性が明らかになれば、新しい診断法・治療法などの開発に繋がると期待されます。

令和5年度事業報告書

令和5年度においては、助成事業、普及支援事業、調査研究事業の3分野の事業を行った。

【1】助成事業

(43,864千円)

1. 公募研究助成

(21,000千円)

(1) 公募自由課題研究助成 「山内進循環器病研究助成」

(10,000千円)

【研究テーマ】「不整脈」をテーマに、臨床、基礎、トランスレーショナルの3分野についての研究 【応募数：22課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	ヒトiPS細胞モデルを用いたノンコーディングDNA領域異常による遺伝性不整脈疾患の病態解明研究	相澤卓範	京都大学大学院医学研究科 医学専攻 循環器内科学 大学院生	2,000千円
2	徐脈性不整脈の重症化に心臓ナトリウムチャネルのカップリングが与える影響についての研究	加藤浩一	滋賀医科大学 循環器内科 助教	2,000千円
3	難治性心房細動に対する新たなアブレーションターゲットの探索に関する研究	鎌倉 令	国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医師	2,000千円
4	リアノジン受容体のテトラマー構造安定化による心不全とそれに伴う致死的不整脈の治療法開発	中村吉秀	山口大学医学部附属病院 第二内科 診療助教	2,000千円
5	胎児頻脈性不整脈の新規診断法及び治療法の開発	三好剛一	国立成育医療研究センター 臨床研究センター 研究員	2,000千円

《研究発表会開催》 令和6年11月6日(水)(会場：国立循環器病研究センター)

(2) バイエル循環器病研究助成

(10,000千円)

【研究テーマ】動脈硬化と炎症・免疫メカニズム

【応募数：34課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	動脈硬化性疾患における血管炎症・免疫制御メカニズムの解明	安達裕助	東京大学医学部附属病院 循環器内科 特任研究員	2,500千円
2	シングルセルオミックス解析で挑む、動脈硬化性疾患免疫メカニズムの解明	江本拓央	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座循環器内科学分野 医学研究員	2,500千円
3	心血管システムにおける体細胞モザイクの解析とその臨床的意義に関する研究	佐野宗一	国立循環器病研究センター 心血管モザイク研究室 独立型研究室長	2,500千円
4	クローン性造血が大動脈瘤を進展させる機序の解明	由良義充	名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 病院助教	2,500千円

《研究発表会開催》 令和6年7月7日(日)(会場：第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会)

(3) 循環器疾患看護研究助成

(1,000千円)

【研究テーマ】自由課題(循環器疾患看護に関する研究)

【応募数：7課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬による食欲への影響	石川恵子	京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 博士課程学生	200千円

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
2	東北地方の心臓病患者における除雪の在り方を考える テーマ1 心疾患患者を対象とした除雪作業の実態調査 テーマ2 健常者の除雪時のパラメータから心負荷の少ない除雪方法を検証する	鍛冶優子	JA 秋田厚生連平鹿総合病院 看護部 リハビリテーション科 看護師	200千円
3	病院看護師と訪問看護師における心不全患者に対するアドバンス・ケア・プランニング連携体制の構築 に向けた実態調査	田場あやね	琉球大学病院 看護部 看護師	200千円
4	先駆的高度医療を提供するICUにおけるリソースナースの活用と評価	時廣亜希子	国立循環器病研究センター 看護部 看護師長	200千円
5	慢性期にある心不全患者のスピリチュアリティを支える看護ケアの現状とその関連要因の検討	山本裕子	京都府立医科大学医学部 看護学科 助教	200千円

《研究発表会開催》 令和6年11月9日(土)(会場:第21回日本循環器看護学会学術集会)

2. 指定研究助成

(22,864千円)

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額 助成終了年度
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 客員教授	(継続) 400千円 令和7年度
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	野口輝夫	国立循環器病研究センター 副院長 心臓血管内科部門 部長	(継続) 300千円 令和9年度
3	弓部大動脈疾患に対する人工血管置換術とステントグラフト内挿術の比較	湊谷謙司	京都大学大学院医学研究科 心臓血管外科 教授	(終了) 400千円 令和5年度
4	心不全に対する外科的治療法の開発	藤田知之	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 心臓血管外科学分野 教授	(継続) 2,000千円 令和8年度
5	先天性心疾患における遠隔期成績向上を目指した外科治療法の開発	盤井成光	国立循環器病研究センター 小児心臓外科 部長	(継続) 150千円 令和7年度
6	生体弁機能不全に対する高圧バルーンを使用したValve-in-Valve治療に関する研究	小林順二郎	国立循環器病研究センター 名誉院長	(継続) 1,000千円 令和6年度
7	血圧および血行動態の日内変動に関する研究	岩嶋義雄	関西医科大学香里病院 内科部長	(継続) 50千円 令和6年度
8	循環器病におけるイメージングバイオマーカーを用いた新たな包括的画像解析技術の開発と臨床応用	福田哲也	国立循環器病研究センター 放射線部 部長	(継続) 8,100千円 令和8年度
9	回収式自己血輸血の止血機能に関する研究	吉谷健司	国立循環器病研究センター 輸血管理部長	(継続) 1,850千円 令和6年度

(多施設共同研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額 助成終了年度
10	心臓核医学検査における国内データベース作成のための調査研究(J-ACCESS5)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任(名誉)教授	(終了) 514千円 令和5年度

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額 助成終了年度
11	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 100千円 令和7年度
12	大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討	松田 均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門 血管外科部長	(継続) 8,000千円 令和8年度

【2】普及支援事業 (8,091千円)

1. 研究成果発表 (1,139千円)

- (1) 研究業績集の発行 (107千円)
前年度の研究助成の成果を研究報告集にまとめて、大学・研究所等へ配布
(指定研究助成：200部発行)
- (2) 研究発表会の開催 (1,032千円)
研究発表会を開催し、前年度に実施した公募研究助成の研究成果の発表

	発表会名	開催日時・場所等
1	「バイエル循環器病研究助成」研究発表会	・日時：令和5年9月8日(金) 16:50~18:20 ・会場：第71回日本心臓病学会学術集会(京王プラザホテル) ・テーマ：糖尿病と循環器疾患
2	「循環器疾患看護研究助成」研究発表会	・日時：令和5年9月17日(日) 9:00~10:30 ・会場：第20回日本循環器看護学会学術集会(WEB開催) ※令和3年度採択者1名の研究発表も合わせて行った。
3	「山内進循環器病研究助成」研究発表会	・日時：令和5年10月30日(月) 15:00~16:20 ・会場：国立循環器病研究センターエントランス棟3階講堂

2. 学術活動支援 (1,061千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

	セミナー名	開催日時・場所等
1	胸が痛くなったら —こんな胸痛には要注意—	・日時：令和5年10月22日(日) 13:00~15:30 ・会場：熊本城ホール(シビックホール) ・開催者：辻田賢一(熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学・教授)
2	心を元気に、健康を維持するために —心不全とは何か、どういう予防するか	・日時：令和6年2月23日(金・祝) 14:00~16:30 ・会場：国立循環器病研究センター 3階 講堂 ・開催者：北井 豪(国立循環器病研究センター心不全部・部長)

※セミナー会場にて「知っておきたい循環器病あれこれ」を配布

3. 移植医療支援等事業 (0千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援(アグネス基金)

4. 予防啓発活動 (5,891千円)

- (1) 小冊子 (5,154千円)
『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行
循環器病予防啓発の小冊子を奇数月に発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布(年間22,000部発行)

	タイトル	執筆者		発行日
158	心臓病の予防法と負担の少ない治療法	大津欣也	国立循環器病研究センター 理事長	令和5年5月1日
159	脳卒中で倒れないためのリスク管理	飯原弘二	国立循環器病研究センター 病院長	令和5年7月1日
160	“口は災いの元”－むし歯・歯周病と 脳卒中の危ない関係－	猪原匡史	国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長	令和5年9月1日
161	腸内細菌と循環器病	中岡良和 殿村修一	国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部 部長 血管生理学部 リサーチフェロー	令和5年11月1日
162	新しい循環器病治療薬 －心不全・高血圧・糖尿病の薬を 中心に－	生駒歌織 川端一功 野口輝夫	国立循環器病研究センター 薬剤部 主任 薬剤部 部長 心臓血管内科 副院長	令和6年1月1日
163	進化続けるCTスキャンの話 －その発展の歴史と夢の最新型登場まで－	福田哲也	国立循環器病研究センター 放射線部 部長	令和6年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行 (239千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページの運営 (https://www.jcvrf.jp) (296千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募案内など

(4) 市民健康講座 (192千円)

一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

	名称	日時・場所
1	シナジーワールドワイド・ジャパン・ 循環器病研究振興財団 健康セミナー	・日時： 令和5年5月13日（土）14:00～15:30 ・会場： シナジーワールドワイド・ジャパン合同会社本社 ・演題： 若い世代と心臓病、どうする心臓 ・講師： 順天堂大学医学部心臓血管外科 特任教授 天野 篤

(5) キャンペーン (4千円)

阪神甲子園球場のオーロラビジョン、ライナービジョンで財団のPRと予防啓発

(6) 共催・後援名義使用 (6千円)

(共催)

	名称	主催者	日時・場所
1	2023年度脳卒中中間ポスター	日本脳卒中協会 理事長 峰松一夫	・令和5年10月1日～31日 ・医療機関、薬局等に掲示
2	健活！チャリティ・ウォーク2024	讀賣テレビ放送株式会社	・令和6年3月23日（土） ・大阪城公園

(後援)

	名称	主催者	日時・場所
1	全国生活習慣病予防月間2024ならび に市民公開講演会	日本生活習慣病予防協会 理事長 宮崎 滋	・令和6年1月24日18:30～20:30 ・日比谷コンベンションホール
2	2023年度心房細動週間ポスター	日本脳卒中協会・理事長 峰松一夫 日本不整脈心電学会・理事長 清水 渉	・令和6年3月9日～3月15日 ・新聞広告掲載等

【3】調査研究事業

(245,232千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費 終了年度
1	日本における急性心筋梗塞患者の治療および 予後の実態調査（JAMIR 前向き研究）	安田 聡	東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 教授	245,232千円 令和5年度

令和6年度事業計画書

【1】助成事業

(35,550千円)

1. 公募研究助成

(17,000千円)

	助成名	研究テーマ	助成金額
1	公募自由課題研究助成 【読売テレビチャリティ基金 研究助成】	循環器病に関する、臨床、基礎、トランスレー ショナルの3分野の研究	@2,000千円×3課題=6,000千円
2	バイエル循環器病研究助成	心不全と分子機構	@5,000千円×1課題=5,000千円 @2,500千円×2課題=5,000千円
3	循環器疾患看護研究助成	(自由課題) 循環器疾患看護に関する研究	@200千円×5課題=1,000千円

2. 指定研究助成

(18,550千円)

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 客員教授	(継続) 500千円 R7 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	野口輝夫	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 部長	(継続) 2,000千円 R9 終了予定
3	心不全に対する外科的治療法の開発	藤田知之	東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 心臓血管外科学分野 教授	(継続) 3,100千円 R8 終了予定
4	先天性心疾患における遠隔期成績向上を目指した外科治療法の開発	盤井成光	国立循環器病研究センター 小児心臓外科 部長	(継続) 500千円 R7 終了予定
5	生体弁機能不全に対する高圧バルーンを使用したValve-in-Valve治療に関する研究	小林順二郎	国立循環器病研究センター 名誉院長	(継続) 2,000千円 R6 終了予定
6	血圧および血行動態の日内変動に関する研究	岩嶋義雄	関西医科大学香里病院 内科部長	(継続) 50千円 R6 終了予定
7	循環器病におけるイメージングバイオマーカーを用いた新たな包括的画像解析技術の開発と臨床応用	福田哲也	国立循環器病研究センター 放射線部 部長	(継続) 5,000千円 R8 終了予定
8	回収式自己血輸血の止血機能に関する研究	吉谷健司	国立循環器病研究センター 輸血管理部長	(継続) 1,000千円 R6 終了予定
9	複雑心臓弁膜症手術の推進	福蔭五月	国立循環器病研究センター 心臓外科部長	(新規) 900千円 R6 終了予定

(多施設共同研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
10	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 500 千円 R7 終了予定
11	大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討	松田 均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科・血管外科 部長	(継続) 3,000 千円 R8 終了予定

【2】普及支援事業

(10,330 千円)

1. 研究業績発表

(1,804 千円)

1	研究業績集の発行	前年度に実施した研究助成の研究成果をまとめ、国立病院・大学・研究所等へ配布する。また、ホームページ上で公開する。	106 千円
2	研究発表会の開催	前年度に実施した公募研究助成の研究成果を関連学会等において発表をする。	1,698 千円

2. 学術活動支援

(1,059 千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

3. 移植医療支援

(300 千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援 (アグネス基金)

4. 予防啓発活動

(7,167 千円)

(1) 小冊子

(5,485 千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ 3,000 部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布する。

(「知っておきたい循環器病あれこれ」発行予定表)

	タイトル	執筆者 (所属施設：国立循環器病研究センター)		発行日
164	カテーテル治療の進歩 —冠動脈疾患・弁膜症・不整脈—	宮本康二 高木健督 草野研吾	心臓血管内科部門冠疾患科 医長 心臓血管内科不整脈科 医長 副院長	令和6年5月1日
165	カテーテル治療の進歩 —胸部と腹部の大動脈瘤—	松田 均	血管外科 部長	令和6年7月1日
166	カテーテル治療の進歩 —脳梗塞—	吉江智秀 豊田一則	脳血管内科 医師 脳血管内科 部門長	令和6年9月1日

	タイトル	執 筆 者 (所属施設：国立循環器病研究センター)		発行日
167	循環器病の新しいリハビリテーション — 脳卒中と心臓病 —	横田千晶 村田 誠	脳血管リハビリテーション科 医長 心血管リハビリテーション科 医長	令和6年11月1日
168	心臓移植と補助人工心臓の進歩	福嶋五月 塚本泰正	心臓血管外科 部長 移植医療部 部長	令和7年1月1日
169	小・中学生向けの「循環器の予防」 (栄養・肥満・ストレス…)	黒崎健一 野口倫生	小児循環器内科 部長 予防医療部 医長	令和7年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行 (236 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開などを行う。

(3) ホームページサービス事業 (<http://www.jcvrf.jp/>) (296 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募などを行う。

(4) 市民健康講座 (1,150 千円)

一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催する。

読売チャリティ医療フォーラム、シナジーワールドワイド健康セミナー等

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場において財団PRと予防啓発を行う。

(6) 共催名義使用

団体等が行う循環器病に関する市民講座等の共催、後援などを行う。

【3】 調査研究事業

(1,250 千円)

当財団の自主事業として行う研究。なお、研究者への助成を目的とするものではない。

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
1	日本を含むアジア地域の急性心筋梗塞の治療および予後の実態調査 (JAMIR2)	安田 聡	東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 教授	(新規) 1,250 千円 R8 終了予定

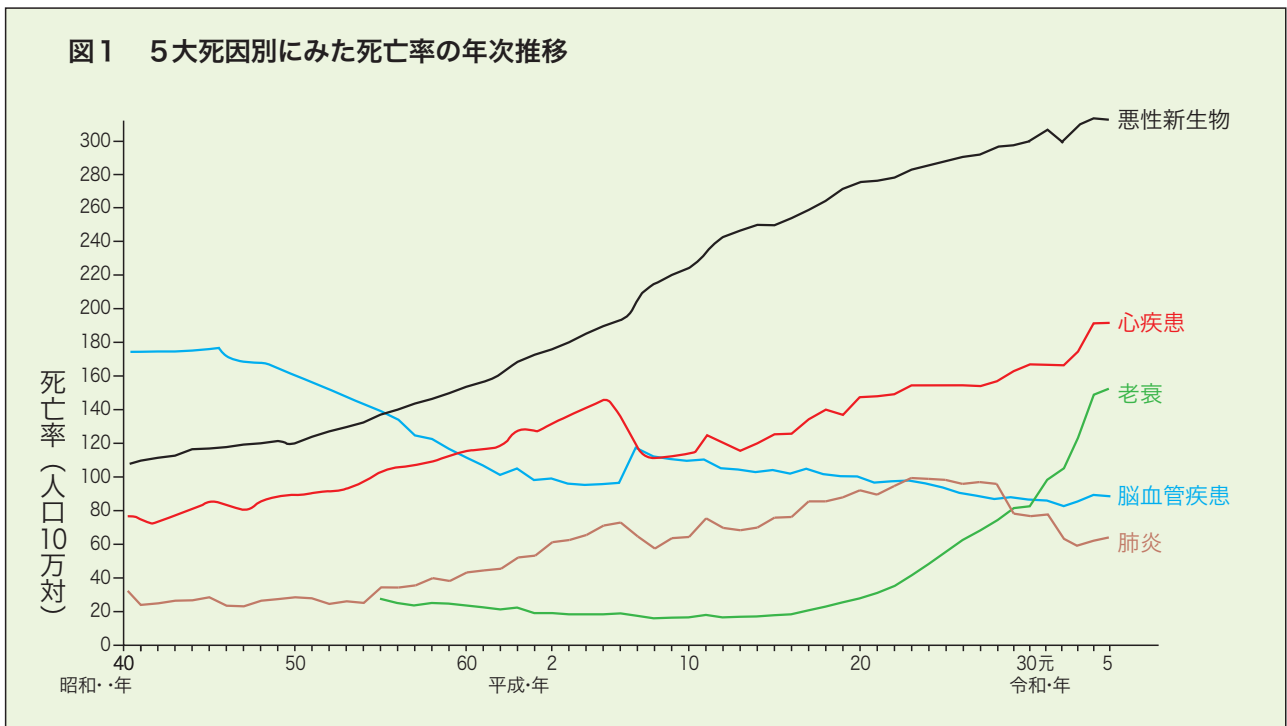
循環器病をめぐる統計

厚生労働省が発表した令和5年人口動態統計によると、5大死因別「**悪性新生物**、**心疾患（高血圧性を除く）**、**老衰**、**脳血管疾患**、**肺炎**」の死亡者数、死亡率（人口10万対）及び全死亡者に占める割合は、表1のとおりである。また、5大死因別死亡率の年次推移は図1のとおりである。

表1 5大死因別による死亡者数、死亡率及び全死亡者に占める割合

	令和5年度			令和4年度		
	死亡者数	人口10万対死亡率	全死亡者に対する割合	死亡者数	人口10万対死亡率	全死亡者に対する割合
悪性新生物	382,504人	315.6	24.3 %	385,797人	316.1	24.6 %
心疾患	231,148	190.7	14.7	232,964	190.9	14.8
老衰	189,919	156.7	12.1	179,529	147.1	11.4
脳血管疾患	104,533	86.3	6.6	107,481	88.1	6.9
肺炎	75,753	62.5	4.8	74,013	60.7	4.7
その他	592,159	488.6	37.5	589,266	482.9	37.6
全死因	1,576,016	1300.4	100.0	1,569,050	1285.8	100.0

図1 5大死因別にみた死亡率の年次推移



注：

- 1) 平成6・7年の**心疾患の低下**は、死亡診断書（平成7年1月施行）における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの影響によるものと考えられている。
- 2) 平成7年の**脳血管疾患の上昇**の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられている。
- 3) 平成9年までは、**心疾患と脳血管疾患**による合計死亡者数は、悪性新生物による死亡者数を上廻っていたが、平成10年以降では若干下廻る結果となっている。悪性新生物（特に肺がん・結腸・膵）による死亡者数の上昇傾向が大きく影響している。
- 4) 平成30年には、**老衰**による死亡者が、**脳血管疾患**による死亡者数を抜いて第3位となっている。なお、**老衰**のグラフは、e-Stat（政府統計の総合窓口）よりデータが入手可能な、昭和55年を始点とさせて頂いております。

ご紹介 **知っておきたい 循環器病あれこれ**



公益財団法人 循環器病研究振興財団へのご寄付

ご寄付いただきました方々に感謝の意を込めて、ご芳名を掲載させていただきます。
(令和5年11月～令和6年10月)

〔個人〕

庵田正二様 瀬戸口慶助様 大門宏夫様 山内 進様 つながる募金

〔法人〕

エア・ウォーター・リンク株式会社様 MSD株式会社様 ゲルベ・ジャパン株式会社様
株式会社河野製作所様 小西医療器株式会社様 GEヘルスケアファーマ株式会社様
シーメンスヘルスケア株式会社様 シナジーワールドワイド・ジャパン合同会社様
宗教法人生心科学会様 第一三共株式会社様 第一生命保険株式会社様 環産業株式会社様
テルモ株式会社様 ニプロ株式会社様 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社様
日本メドトロニック株式会社様 日本ライフライン株式会社様 パイエル薬品株式会社様
PDRファーマ株式会社様 富士製薬工業株式会社様 平和物産株式会社様
ハモネティクスジャパン合同会社様 宮野医療器株式会社様 読賣テレビ放送株式会社様

※公表についてご承諾いただいた方を掲載させていただいております（五十音順）。

つながる募金

「つながる募金」はソフトバンク株式会社が提供するQRコード等からのシンプルな操作でご寄付いただけるサービスです。

右記QRコードを読み取っていただくと寄付画面に移行します。
“ソフトバンク”のスマートフォンの利用料金の支払いと一緒にご寄付いただけます。

【ソフトバンクのスマートフォン以外をご利用の場合】

- ・クレジットカードでのお支払いとなるため、クレジットカード番号等の入力が必要となります。
- ・継続期間を1ヵ月（1回）、3ヵ月、6ヵ月、12ヵ月から選択していただけます。寄付期間を選択して寄付されている場合、途中で寄付の停止や寄付期間の変更はできません。

※1,000円以上のご寄付については、領収書の発行にも対応させていただきます。
希望される場合は、ご寄付のお申込み後、「団体からの領収書を希望する」ボタンを押し、お手続きください。



ソフトバンクのスマートフォン



ソフトバンク以外



公益財団法人
循環器病研究振興財団
Japan Cardiovascular Research Foundation

〒564-0027 大阪府吹田市朝日町1番301-3
(吹田さんくす1番館3階)
TEL 06-6319-8456 FAX 06-6319-8650
<https://www.jcvrf.jp/>